

戦後・被爆80年



「原爆と人間」「高校生の絵」 パネル展

80年前の8月6日と9日、広島と長崎に落とされた原爆の実相です。

「原爆パネル」と広島市立基町高等学校の生徒さんが被爆者から聞き取って描いた「原爆の絵」のパネルを展示します。

核兵器のない世界を願って準備しました。是非お立ち寄りください。

日時：8月5日（火）13時～8月12日（火）13時

場所：南箇公民館 1階奥ロビー（常設展示）

どなたでも自由にご覧になれます

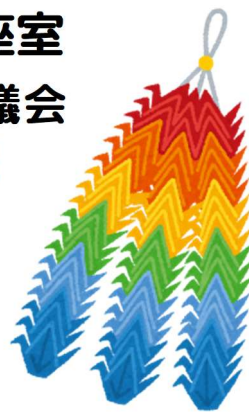
特別企画

被爆の体験を語り伝えたい

8月10日（日）14時から 南箇公民館 講座室

語り部：木内恭子さん 埼玉県原爆被害者協議会
（しらさぎ会）副会長

どなたでも無料でご参加いただけます



お願い

絵画パネル展示期間中、折り鶴の作成をお願いしています。

ご協力できる方は、ロビーに設置してありますので、よろしくお願いいたします。

作成された折り鶴は、常泉寺で行われる「広島・長崎の火を囲む集い」に持参します。
常泉寺（見沼区染谷）には「広島・長崎の火」があります。この火を永遠に灯して、
核兵器と戦争をなくす被爆者と日本国民の願いを語り広げるため、この地に「広島・
長崎の火」モニュメントが建設されています。



新日本婦人の会浦和支部瀬ヶ崎班、医療生協さいたま赤山街道支部 共催
連絡先：090-8890-1464（つかだ）、090-3807-7489（まつかわ）